科目名	体験演習(小学校) (7月12日) 北浦先生 (1月31日)	単位	面接1単位	配当年次	1年次	授業形態	演習
教科書	なし						
持参物	筆記用具						
備　考							
授業内容	1.　学校教育とは ・学校生活を教師や学級集団、授業等の観点から振り返る。 ・義務教育の意義や成果、現在の学校現場の課題について学ぶ。 2.　学校の組織について ・学校がどのような形で運営されているかを具体的な資料から学ぶ。 3.　教員を目指して ・求められる教師像を資料やWEB映像等から学び、目指す教師像を確立する。 4.　教育の新しい動きについて ・学習指導要領や先進校の取組み等をもとに、これからの教育について学ぶ。、						

科目名	体験演習（療法）　（7月26日） 大空先生　（1月14日）	単位	面接１単位	配当年次	１年次	授業形態	演習
教科書	なし						
持参物	動きやすい服、靴 ※スカート、ヒールは不可						
備　考	参考図書「音楽運動療法入門　野田　燎」工作舎						
授業内容	この授業では、音楽運動療法の一端を実際に体験する。 トランポリンやフィジオボールにのり、心身がどのように変化するかを体感し、音楽運動療法についての理解を深める。 また、様々な感覚の疑似体験をすることで支援者としてどのように関わったら良いか考える。 1　音楽運動療法の基本的な考え方 2　トランポリンを使っての療法を体験する 3　フィジオボールを使って療法を体験する 4　様々な感覚の疑似体験をする						

科目名	体験演習(幼稚園)　(8月23日) 三原先生　(2月14日)	単位	面接1単位	配当年次	1年次	授業形態	演習
教科書	なし						
持参物	筆記用具						
備　考	動きやすい服装						
授業内容	幼稚園は、どんなところ？ 教育基本法　11条　幼児期の教育 学校教育法　第3章　第22条・23条 法律に位置づけられている。 ①　遊んでみよう ・模擬保育室で ②　思い出してみよう ・幼稚園・保育園での思い出 大好きだった遊び、先生、友達、行事、家族との思い出など ③　幼稚園の写真や映像を見て、子どもの遊びや生活について考えよう （例） ・心や体をよく動かしていると思う場面 ・生活習慣や身につけたいこと、集団生活のきまり　など ④　幼児期に大切な「遊び」について考えよう ・実際に、遊びを楽しんでみよう ・遊びの中で育つものについて考えよう ・教師の働きかけ（援助）で大切なことを考えよう						

科目名	音楽Ⅰ	単位	面接2単位	配当年次	1年次	授業形態	講義
教科書	なし（授業内で資料を配布する）						
持参物	・筆記用具						
備　考							
授業内容	教育現場において楽曲を演奏・指導するに当たり、楽譜に関する正しい知識・読解力をつける事は必要不可欠である。楽典の基本やコードネームの初歩を学ぶことにより、音楽的素地を養う事を目的とする。 第1回：　譜表と音名 第2回：　拍子 第3回：　リズムと言葉 第4回：　音程 第5回：　西洋音楽史（ルネサンスまで） 第6回：　音程 第7回：　調と音階 第8回：　和音・コードネーム 第9回：　和音・コードネーム 第10回：　西洋音楽史（古典派まで） 第11回：　発想記号、楽曲の形式 第12回：　西洋音楽史（ロマン派以降） 第13回：　移調・移旋 第14回：　楽典の復習 第15回：　楽典試験 練習問題に取り組みながら楽典を学ぶ。また西洋音楽の歴史を学び、クラシック音楽が時代とともにどのように変化してきたのか、理解を深める。 理論だけではなく、リズム打ちやキーボードを使った実践なども適宜取り入れたい。						

科目名	図画工作Ⅰ	単位	面接２単位	配当年次	１年次	授業形態	講義
教科書	図画工作・美術家教育法（図画工作・美術家教育研究会編）　建帛社　※スクーリング時持参不要						
持参物	ハサミ　カッターナイフ						
備　考	汚れても良い服装・動きやすい服装						
授業内容	1日目 子どもの作品、造形活動をみる視点について 表現の技法研究①（ クレヨンの表現 水彩の表現 2日目 表現の技法研究② 様々な素材の活用について 3日目 技法研究のまとめ ペーパークラフト 作品製作						

科目名	幼児と健康	単位	2単位	配当年次	1年次	授業形態	講義
教科書	適宜プリント配布						
持参物	粘土「樹脂粘土」又は、「紙粘土」(12色セットと白色のみのもの　100均などで売っています) 弁当箱（子供用の大きさ）　筆記用具　彩色する場合は絵の具（筆、ポットは大学にある）						
備　考	粘土を使って幼児のお弁当作りをします。						
授業内容	第1回：領域「健康」のねらいと内容 ・本授業ガイダンス ・幼稚園教育要領が示す「健康」について学生たちの問題意識に問いかけながらねらいと内容を理解する 第2回：幼児の健康な育ちを支えるために① ・幼児の健康問題とその背景についてテキストや視聴覚教材を用いて理解する 第3回：幼児の健康な育ちを支えるために② ・幼児の健康問題とその背景についてテキストや視聴覚教材、グループワークを通して考察し、「幼児の育って欲しい姿」を理解する 第4回：幼児の心身の発達と健康① ・幼児の心理発達を理解した上で、家庭での親子関係の重要性と保育者の役割を理解する 第5回：幼児の心身の発達と健康② ・幼児の運動能力の発達と運動あそびについて考える 第6回：健康な心と身体を育むために① ・幼児期の運動遊びの重要性について理解する 第7回：健康な心と身体を育むために② ・生活リズム、睡眠、基本的生活習慣の獲得と発達について 第8回：健康な心と身体を育むために③ ・安全教育、ジェンダー教育、病気の予防について 第9回：幼児の食育について ・幼児にとって必要な食生活を知る ・栄養面における知識を身に付け幼児の食生活の課題について考える 第10回：幼児の食に関する教材づくりワーク① ・粘土による4歳児のお弁当作り計画書作成　・4歳児の栄養バランスを考えた献立作成 第11回：幼児の食に関する教材づくりワーク② ・粘土を用いてお弁当の食材を作る 第12回：幼児の食に関する教材づくりワーク③ ・粘土を用いてお弁当の食材を作る 第13回：幼児の食に関する教材づくりワーク④ ・粘土を用いてお弁当の食材を作る 第14回：幼児の食に関する教材づくりワーク⑤ ・発表をする ・相互評価を通して、学びを刺激し合い保育者の視点を深める 第15回：まとめ						

科目名	幼児と人間関係	単位	面接１単位	配当年次	１年次	授業形態	講義
教科書	なし						
持参物	筆記用具						
備　考							
授業内容	１．オリエンテーション ・授業の目標・内容を知り、受講に関しての目的意識を明確にする ２.領域「人間関係」に求められること ・人間関係をめぐる現代的課題と社会的背景 ・領域「人間関係」が目指すもの ３.領域「人間関係」のねらいと内容について ４．０歳児～３歳未満児の育ちと人との関わり ・人との信頼関係を基盤とし、安定感・安心感を得られるような関わりとは ５．３歳児の育ちと人との関わり ・自立心の芽生えを育み、自己充実して遊べるようになる基礎を築く ６．４歳児の育ちと人との関わり ・仲間との出会いと関わり ７．５歳児の育ちと人との関わり ・友達と生活や遊びをつくる、遊びの中で育つ協同性 ８．小学校教育への接続 ・就学までに育てたい人間関係 ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について ９．幼児の自己主張について ・けんかやいざこざ、トラブルを通して成長する幼児 １０.気になる幼児への支援① ・保育実践より、人との関わりが難しい幼児とは １１.気になる幼児への支援② ・人との関わり方が難しい幼児への支援を考える １２.道徳性・規範意識の芽生えについて ・規範意識を育むとは ・幼児期における道徳性の芽生えを育むために １３.子育ての支援 ・保護者の理解と支援　保育者の役割 １４.教材研究や環境の重要性を理解する ・人間関係を育む遊びや教材を研究する １５.まとめ						

科目名	幼児と環境	単位	2単位	配当年次	1年次	授業形態	講義
教科書	適宜プリント配布						
持参物	色えんぴつ又は、水性マジック（12色以上）　筆記用具						
備　考	学内を歩き、自然探索する時間があります						
授業内容	第1回：領域「環境」ねらいと環境 ・本授業のガイダンス ・幼稚園教育要領が示す「環境」について、学生たちの問題意識に問いかけながらねらいと内容を理解する 第2回：子どもにとっての「環境」とは① ・DVDを視聴し、幼児にとって身近な環境について考える 第3回：子どもにとっての「環境」とは② ・自然と「センス・オブ・ワンダー」について考える 第4回：子どもにとっての「環境」とは③ ・自然、もの、人について考える 第5回子どもにとっての「環境」とは④ ・自然、もの、人、地域社会について考える 第6回子どもにとっての「環境」とは⑤ ・現代の課題、SDGｓ、ICT、など 第7回：領域「環境」のねらいと内容に基づき、保育の構想を深める① ・季節と行事について考える 第8回：領域「環境」のねらいと内容に基づき、保育の構想を深める② ・季節と行事について考える 第9回：領域「環境」にねらいと内容に基づき、保育の構想を深める③ ・幼稚園（施設）内の環境について考える 第10回：領域「環境」のねらいと内容に基づき、保育の構想を深める④ ・遊びのなかで育つものについて考える 第11回：領域「環境」のねらいと内容に基づき、保育の構想を深める⑤ ・教材の製作（時期によりテーマが変わります） 第12回：領域「環境」のねらいと内容に基づき、保育の構想を深める⑥ ・教材の製作 第13回：領域「環境」のねらいと内容に基づき、保育の構想を深める⑦ ・教材の発表 ・相互評価を通して学びを刺激し合い保育者の視点を深める 第14回：領域「環境」のねらいと内容に基づき、保育の構想を深める⑧ ・教材の発表 ・相互評価を通して学びを刺激し合い保育者の視点を深める 第15回：本授業のまとめ						

科目名	幼児と言葉	単位	面接１単位	配当年次	１年次	授業形態	講義
教科書	なし						
持参物	筆記用具						
備　考							
授業内容	１．オリエンテーション 授業の目標・内容を知り、受講に関しての目的意識を明確にする 領域「言葉」に求められること　ー言葉をめぐる現代的諸課題と社会的背景ー ２．領域「言葉」のねらいと内容について ３．言葉の発達過程　①０歳児～２歳児の言葉と保育者の関わり ４．言葉の発達過程　②３歳児～５歳児の言葉と保育者の関わり ５．領域「言葉」と小学校教育とのつながり ー「話し言葉」と「書き言葉」についてー ６．幼児の言葉を育む環境構成と援助 ー豊かな言葉を育むための保育環境や保育者の援助についてー ７．言葉の育ちに関わる諸問題について ー言葉をめぐり、特別な配慮の必要な幼児への指導ー ８．豊かな言葉を育む児童文化（手遊び、言葉遊び、歌など） ９．豊かな言葉を育む児童文化（絵本と紙芝居） １０．豊かな言葉を育む児童文化（ペープサート・パネルシアター） １１．伝え合い分かり合う楽しい劇遊び １２．言葉を育む教材研究を行い、教材を作成する① １３．言葉を育む教材研究を行い、教材を作成する② １４．保育教材を使った模擬保育 １５．まとめ						

科目名	幼児の音楽表現Ⅰ	単位	2単位	配当年次	1年次	授業形態	講義
教科書	『乳幼児の音楽表現』赤ちゃん学会　中央法規 『こどものうた200』小林美実　チャイルド社						
持参物	筆記用具、教科書						
備　考	少し身体を動かしますので動きやすい服装・靴で来てください。						
授業内容	○幼児期において育みたい資質・能力について、又表現領域のねらい及び内容について理解する。主体的で対話的･深い学びが実現する課程を踏まえて具体的な保育を考察し､幼児が手段とする様々な表現方法を学ぶ。教材研究をするとともに、幼児について深く理解をするために、赤ちゃんから幼児までの音・音楽との関わりについて学び指導法を見に付ける。併せて保育の評価について学び省察の仕方を理解し指導計画の立て方を学ぶ。Ⅰにおいては特に身体表現と声による表現について学ぶ。 第1回：授業の概要。領域「表現」のねらい及びに内容について 第2回：年齢による表現の変化、声の発達について 第3回：わらべうたについて 第4回：わらべうたによる大人の関わりとその指導法 第5回：友達との関係構築するわらべうたの意義 第6回：幼児と歌う意味・意義について考察する 第7回：表現する楽しさを味わわせ、表現する意欲を引き出す保育実践を考察する。 第8回：幼児の想いやイメージを生かした音楽活動について 第9回：領域との関係から季節の歌を歌うことの意味を知る 第10回：手遊びの持つ意義について理解し実践する 第11回：幼児の特徴でもある身体運動について 第12回：ボディパーカッションを体験し、一番身近な楽器としての体と音楽の関わりについて学ぶ 第13回：情報機器などの教材を用いた指導法について 第14回：情報機器や視聴覚教材を活用し実践する 第15回：まとめ　乳幼児の声・歌との関わりについて						

科目名	幼児の造形表現Ⅰ	単位	2単位	配当年次	1年次	授業形態	講義
教科書							
持参物 備　考	筆記用具、スケッチブックA4、カッターナイフ、はさみ、のり(でんぷんのり)、えんぴつ(2B) 水彩絵の具セット(12色セット、ただし100円均一のセットでは絵の具の量的にも足りないので、それは避けること)、筆（大小3本程度は必要)、パレット、作品を持ち帰る手提げ袋、エプロン						
授業内容	○絵の具やクレパスなどの画材には、描画以外の様々な可能性がある。それらを体験することで保育造形の広がりを理解し習得する。また、造形あそびを体験することで、教材や環境から造形的な遊びを構想し、こどもたちに体験させることが出来るよう、基礎的な知識・技術を習得する。 第1回：乳幼児の造形活動について 第2回：平面技法の基礎と実践①　パスを使って　スクラッチ、ステンシル、バチック 第3回：平面技法の基礎と実践②　絵の具を使って　デカルコマニー、ステンシル 第4回：平面技法の基礎と実践③　絵の具を使って　ドリッピング、流し絵、にじみ絵 第5回：平面技法の基礎と実践④　絵の具を使って　糸を使って、ストローを使って 第6回：子どもの造形と壁面製作①　技法を生かして壁面製作につなげる 第7回：子どもの造形と壁面製作②　装飾を施して完成させる 第8回：粘土の造形①　感触教材として体験する 第9回：粘土の造形②　造形素材として体験する 第10回：粘土の造形③　立体作品を完成させる 第11回：色彩の基礎 第12回：幼児の造形について 第13回：造形あそび―空間をつくる・ひもを用いて 第14回：造形あそび―空間をつくる・新聞紙を用いて 第15回：まとめ ※試験は実施しない						

科目名	演習１－１（音楽）（6月20日） 紺谷先生　　（11月29日）	単位	面接１単位	配当年次	２年次	授業形態	演習
教科書	なし						
持参物	筆記用具　事前配布資料						
備　考	本演習は、ピアノ演奏経験の有無は問いません。						
授業内容	「演習Ｉ」の授業の特徴は、3日間の授業を1日ずつ専門分野の異なる担当教員が担当し、それぞれの専門分野の一端に触れることによって、教育と芸術の両面において、段階的に専門性を高めていくことを目的とする。 「演習Ｉ-1」においては、西洋音楽の歴史を概観し、日本における西洋音楽受容史を学ぶことによって、学校教育における音楽についての理解を深める。また、楽譜の成り立ちや様々な作曲家の作品を学ぶことにより、ピアノや楽器演奏に必要な読譜力の習得を促し、音楽表現の技能を高める。 1. 身近なクラシック音楽とは？ 2. 西洋音楽の歴史について 3. 楽譜の成り立ちや記譜法、作曲家の自筆譜について 4. 洋楽受容史から唱歌、童謡について 5. ピアノの楽器の特性について						

科目名	演習１－1（教育）（6 月 27 日） 堀内先生　　（11 月 28 日）	単位	面接１単位	配当年次	２年次	授業形態	演習
教科書	特にありません						
持参物	授業内容に関する文献や新聞記事などの資料がありましたら持参してください。						
備　考							
授業内容	１．小学生が抱える問題 学級崩壊・いじめ問題・不登校問題について考える ２．保育園・幼稚園・小学校のなめらかな繋がり 小１プログレムについて考える ３．教育とは何か、教育の基礎・基本 子どもの理解の基本について考える ４．生徒指導（生活指導）と教育相談 小学校における生徒指導について ５．学校と保護者・地域との連携の在り方 虐待について考える						

科目名	演習１－１（造形）（6月28日） 本多先生　　（11月21日）	単位	面接１単位	配当年次	２年次	授業形態	演習
教科書	なし						
持参物	クレパス、水彩絵の具、筆、画用紙Ａ４　５枚						
備　考							
授業内容	この授業では図画工作の様々な表現方法・素材を経験し、造形の楽しさを体験する。また、造形表現の基礎知識と技術も習得する。 ① ガイダンス（図画工作の授業の題材・教材研究について） ② 教材研究　平面技法演習（クレパス） ③ 教材研究　平面技法演習（水彩絵の具） ④ 教材研究　立体技法演習（粘土）						

科目名	演習１－２（心理療法）　（7月12日） 横田先生　（1月10日）	単位	面接１単位	配当年次	２年次	授業形態	演習
教科書	なし						
持参物	筆記用具						
備　考							
授業内容	○スクーリングでは、「心理療法」について学びます。 子どもと保護者への心理的介入を行うために、遊戯・行動療法の基礎を学びます。 ※スクーリングの授業内容については、受講者の人数により変更することがありますのでご了承ください。						

科目名	演習１－２(絵画造形療法)(7月25日) 中谷先生　　(2月6日)	単位	面接 1単位	配当年次	2年次	授業形態	演習
教科書	なし						
持参物	筆記用具・スケッチブック「マルマンスケッチブック A4（287×202㎜）24枚 S131」						
備考	実際の医療の現場における臨床として絵画療法演習を行います。						
授業内容	○実際における絵画療法について ○絵画療法の基本的前提としていえる心構え ○絵画療法において向き合う様々なケース ○絵画療法における具体的に必要なこと ○絵画療法のシステム、プロセス ○教材研究 ※授業の内容は、予定であり変更する場合があります。ご了承ください。						

科目名	演習１－２（音楽療法）（8月23日） 大空先生　　（2月28日）	単位	面接１単位	配当年次	２年次	授業形態	演習
教科書	なし						
持参物	動きやすい服装・靴（スカート・ヒール不可）						
備　考	参考と図書「音楽運動療法入門　野田　燎」工作舎						
授業内容	体験演習では、受療者として音楽運動療法を体験した。 この授業では、療法者としての音楽運動療法や音楽療法について学び、体感する。 1　音楽運動療法・音楽療法の実際の場面を映像資料により視聴する 2　音楽運動療法や音楽療法における楽器の使い方を学ぶ ・クライアントの動きやトランポリンの上下動に合わせて打楽器やピアノを演奏する技術を学ぶ ・クライアントの特性に合わせた楽器の選び方や演奏方法を学ぶ 3　音楽運動療法や音楽療法のプログラムを考える						

科目名	音楽科指導法Ⅰ（初等）	単位	面接２単位	配当年次	２年次	授業形態	講義
教科書	教員養成課程「小学校音楽科教育法」有本真紀他（教育芸術社）						
持参物	テキスト、リコーダー（ソプラノ）、鍵盤ハーモニカ（大学は全音ピアニー使用）、可能であれば小学校音楽の教科書１冊、ノートパソコン持参可能な方は持参（なければ手書きで対応可）						
備　考	リコーダー、鍵盤ハーモニカは大学にもありますが、口をつけるので、吹き口（全音）は各自で用意してくるのが望ましいです。模擬授業を行うので、１－６年の教科書の内、１学年分のみ（出版社は問わない）各自購入しておくことがのぞましいです。模擬授業することを念頭に見ておいてください。 スクーリング時に、各自１曲、歌唱共通教材を伴奏していただきますので、テキストを参考にどれか１曲を練習しておいてください。（簡易伴奏可）						
授業内容	小学校教育の基本として、「生きる力」や、三つの視点などを理解したうえで、音楽科教育の意義と目標を理解する。表現領域である、歌唱・器楽・音楽づくり、鑑賞領域と共通事項を理解し、教授するための基本的音楽知識について理解するとともに、反復や問いと答えなどの音楽の仕組みについても理解する。鑑賞教材や、歌唱共通教材についても理解を深め、感じ取ったことを言語化する方法についても考察し、指導法を学ぶ。授業を行う際の、教材研究についても深め、授業計画を作成し、模擬授業を行いながら実践力を身に付ける。授業における評価の観点についても理解する。 授業内容 １）小学校音楽科の目標・指導内容について学ぶ ２）歌唱共通教材の研究 ３）器楽の指導法を学ぶ ４）音楽づくりについて理解を深める ５）鑑賞教材の研究 ６）指導案作成法を知り、模擬授業を行う						

科目名	図画工作科指導法Ⅰ	単位	面接２単位	配当年次	２年次	授業形態	講義
教科書	新学習指導要領にもとづく楽しいアート　昭和堂　車谷哲明・井関和代 編著 小学校学習指導要領「図画工作」編						
持参物	教科書、はさみ・カッターナイフ・スティックのり・水彩絵の具・パス・パレット・筆 水入れ・筆記用具・ノート・テッシュペーパー・汚れても良い服装（エプロン可）						
授業概要	子どもの発達段階にともなう表現の傾向を学習し、造形表現(幼稚園)・図画工作科(小学校)に必要な基礎知識や技能を学習する。また、学習指導要領に基づく学習指導計画や指導案の作成を通して、具体的な指導法を身につけていく。彩画材料の特性や版による表現について実技を通して学びを深めていく。						
授業内容	1. 子どもの成長と表現の傾向　（子どもの表現を理解する） 2. 学習指導案を作成する。 3. パス・水絵の具の基本的な技法について学ぶ （モダンテクニック表を作ります。） (パス)バチック・塗り広げ・塗り狭め・スクラッチ・フロッタージュ等 (水絵の具)スタンピング・にじみ・ドリッピング・スパッタリング・マーブリング 4. 幼児の造形あそび ・スチレンを使った遊び ・絵の具あそび ・教材研究						

科目名	体育科指導法	単位	面接２単位	配当年次	２年次	授業形態	演習
教科書	「こころとからだをつなぐ運動遊び ～体育科指導法～」 山田美紀子 谷玲子（ふくろう出版）						
持参物	教科書　※最新版(表紙がオレンジ)を購入してください。 教科書が古い版（表紙が水色）の場合は、スクーリングを受講できませんのでお気を付けください。						
備考	Zoom 授業で行います。 動きやすい服装で受講お願いします。						
授業内容	１、子どもの体力 ・子どもの体力・運動能力の低下 ・スキャモンの発達発育曲線・教員の指導力 ・実技「ラジオ体操」 ・実技「楽しいリズム体操」♪動物のヨガ体操 ２、学習指導要領 ・育成すべき資質能力の３つの柱 ・教科のねらい・領域構成と学習内容・体育科の目標 ・健全育成のための活動プログラムと運動遊び ３、学習評価の意義とねらい ・年間指導計画と授業時数 ・主体的対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ・評価の観点・単元計画の見直しと改善点 ・授業風景の閲覧 ４、小学校の体育の授業① ・学習指導と学習評価 ・教材研究 ・小学校体育授業の実際「からだほぐし運動」「体つくり運動」 ・振り返りとまとめ ５、小学校の体育の授業② ・多様な動きをつくる運動遊び・器械運動 ・陸上運動・水泳 ・実技「楽しいリズム体操」♪ひまわりサンバ♪アヒルのダンス ６、小学校の体育の授業③ ・ボール運動・表現運動 ・サーキット遊びの組み立て ７、学習指導案① ・単元計画・単元目標・教材観・児童の実態・評価規準・学習指導の工夫 ・本時の指導展開例 ８、学習指導案② ・指導案を書いてみよう ・振り返りとまとめ						

科目名	国語科指導法Ⅰ（初等）	単位	通信１単位 面接１単位	配当年次	２年次	授業形態	講義
教科書	「白石範孝の国語授業の教科書」（東洋館出版社） 「小学校学習指導要領解説国語編」最新版						
持参物	・筆記用具 ・教科書						
備　考							
授業内容	○国語科学習指導要領の内容と指導上の留意点について学びます。 ○授業技術として重要な発問・板書・筆順や字形について確認します。 ○４５分間の授業構成方法について学びます。 ○言葉の決まりや記号の読み方や役割などを再確認します。 ○物語文の教材研究方法と授業の進め方について学びます。 ○説明文の教材研究方法と授業の進め方について学びます。 ○低・中・高学年による教材の違いや特性、指導法について学びます。 ○物語文教材の学習指導案を作詞します。 ○作成した指導案をもとに、模擬授業を行います。 ○「国語科」成立の歴史的背景を学びます。						

科目名	保育内容指導法総論 保育内容指導Ⅰ・保育内容指導法	単位	通信２単位 面接２単位	配当年次	２年次	授業形態	講義
教科書	「保育内容総論」（光生館）						
持参物	テキスト、幼稚園教育要領解説（文部科学省）　新聞紙５枚程度・ハサミ・のり 八つ切り色画用紙セット・色紙セット・両面テープ・セロテープ・割り箸(8 本) クレパス・マジック 夏期受講者(どんぐり転がし迷路作成用)空き箱、他作成に必要と考える材料 3 日目のみ：上靴と戸外用運動靴						
備　考	なし						
授業内容	【１日目～２日目】 １．保育の基本原理 ２．現代社会における保育 ３．保育の実践とこども理解 ４．こどもと保育の観察 ５．環境による保育 ６．遊びと保育 ７．発達に即した保育計画 ８．まとめ 【３日目】 幼稚園現場で直接こどもの様子や教師の援助、環境などについて学び、保育を考える。						

科目名	保育内容（人間関係）	単位	面接１単位	配当年次	２年次	授業形態	講義
教科書	幼稚園教育要領解説　平成 30 年 3 月（文部科学省）						
持参物	教科書						
備考	講義科目ですが教室で動ける程度の実技を行いますので、動きやすい服装・靴で受講してください。						
授業内容	1. 環境を通して行う教育とは (1)環境を通して行う教育とは (2)領域「人間関係」について 2. 保育者との信頼関係 (1)信頼関係を育む保育者の基本姿勢 (2)子どもの行動を見守りながら適切な援助を行う (3)子ども同士の関係へ 3. 集団の中で安定するために (1)人間関係の広がり 4. 道徳性の芽生え (1)規範意識の芽生えを培う (2)自分の気持ちを調整する力を育てる 5. トラブルを通して育つもの (1)トラブルに保育者はどうかかわっていくか 6. 協同性を育む保育を展開するために (1)協同する経験を重ねる 7. 教育課程・年間指導計画・週案・日案について 8. レポート作成 ※実技について なかよし遊び、歌遊びなどはその都度指導します。						

科目名	芸術表現演習Ⅰ（造形）	単位	面接１単位	配当年次	２年次	授業形態	演習
教科書	新学習指導要領にもとづく楽しいアート						
持参物	教科書、古タオル・エプロン・軍手もしくはゴム手袋・鉛筆・パス・スティック糊 絵の具セット（絵の具・筆・筆洗・パレット）カッターナイフ　作品持ち帰り用袋等						
備　考	画材などは必要に応じて学内のマツダ画材で購入してもらいます。						
授業内容	1.　「紙」を使った造形活動 ・新聞紙 ・段ボール ・切り絵 2.　「自然木」を使った造形活動 ・かなづちと釘 ・接合の工夫 ・思ったものを作ろう 3.　「絵の具とパスを使った造形活動」 ・絵の具遊び ・パスの活用 ・スチレンであそぶ ４.「版表現」 ・紙版の基礎 ・スチレンを使った版画 ・回転版画						

科目名	芸術表現演習Ⅱ（音楽）身体表現Ⅰ（身体表現Ⅰ－１）	単位	面接２単位	配当年次	２年次	授業形態	講義
教科書	なし						
持参物	動きやすい服装と靴						
備考							
授業内容	１．発声練習、話し方練習、歌唱練習、振り付け練習等を通して表現のいろいろを体験する。 使用する教材は配布し各自で製本。（１５分程度の製本講習で完成） それぞれのタイトルやキーワードの紹介 ・腹式呼吸　・滑舌の練習　・１分間スピーチ　・日本語の特徴　・数字で会話 ・自己紹介と他己紹介　・ドレミパイプ　・ハンドベル　・譜読みとプロンプの練習 ・歌詞に合わせた振り付け　・リズムに合わせた動作やステップ ２．コミュニケーションゲームを体験し、相手に伝える表現を学ぶ。 それぞれのタイトルやキーワードの紹介 ・名前ゲーム　・アイコンタクト　・ボール投げ　・架空ボール投げ ・彫刻レッスン　・フォーカスゲーム　・ステイタス　・倒れかけレッスン ・鏡レッスン　・アイマスク ３．歌舞伎、文楽、落語など日本の舞台作品の鑑賞、オペラ、バレエ、ミュージカル等の舞台作品の鑑賞を通して、表現の様々を知る。						

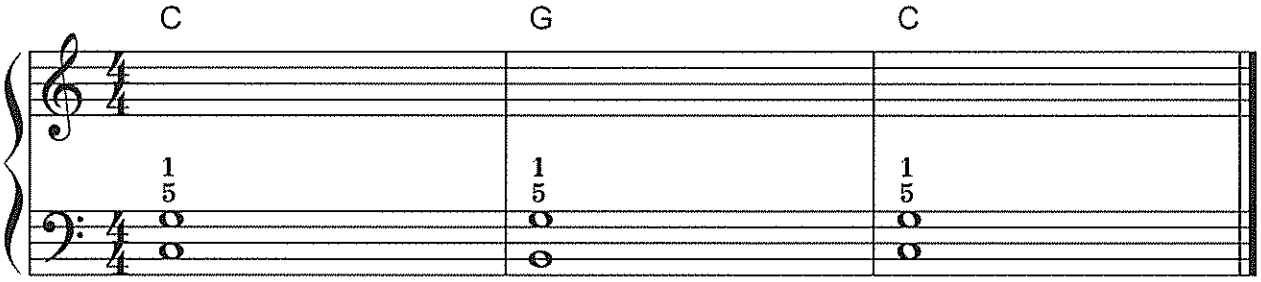
科目名	芸術表現演習Ⅲ（身体）身体表現Ⅰ（身体表現Ⅰ－２）	単位	面接２単位	配当年次	２年次	授業形態	演習
教科書	なし						
持参物	Ａ４資料を配布するため、ファイルを用意すること。						
備考	授業には動きやすい服装で出席すること。						
授業内容	芸術を通して心を感じ取る感性や、子どもの育ちを支援する力、心を癒す力を身につけ、子どもの良き理解者となる保育士・幼稚園教諭・小学校教諭を目指す人材を育成することを目的とする。 子どもの全面的な発達を支える身体表現活動の重要性と身体の仕組みについて、実践に必要な基礎理論を学ぶ。 動くことを通して、子どもの発達を支援する身体表現・ダンスの理論と実践を理解し、健康な心身を育む意義を考察する。 １．身体表現のための身体構造とストレッチ ２．子どもの身体活動と遊びの創造 ３．リズムを活かした身体表現の基礎 ４．多様性を尊重した舞踊と身体表現 ５．空間を活かした身体表現の基礎 ６．身体運動における応急処置 ７．運動会のダンス体験 ８．舞踊の概要／指導に役立つダンスステップの基礎と記録 ９．運動会のダンス創作① １０．運動会のダンス創作② １１．運動会のダンス創作③ １２．イメージを活かした身体表現の基礎 １３．幼児・児童教育におけるダンス体験と指導 １４．身体運動における動機づけ／あがり １５．幼児・児童教育における創作ダンスの実践						

科目名	ピアノ１－１	単位	面接１単位	配当年次	２年次	授業形態	演習
教科書	バイエル教則本/ブルクミュラー25の練習曲/ソナチネアルバム１・２等（各自のレベルにあった物） こどものうた 100 著）小林美実　出）チャイルド本社　編／ 小学校教諭のための歌唱共通教材ピアノ伴奏集　出）学研　編曲）大海由佳／古谷和子／長谷川恭子（各自書店にて購入）						
持参物	教科書、筆記用具						
備　考	受講についてはピアノ１－１　→　ピアノ１－２の順番で受講するのが望ましい。						
授業内容	次の(A)、(B)の楽曲について、個人レッスンを行い、最終試験ではその成果を発表する(受講までにしっかり練習して準備しておくこと)。 ※ピアノ未経験者であっても受講は可能とする。その場合には必ず、ト音記号、ヘ音記号のドレミを読める様に事前準備を行っておくこと。 (A)子どもの歌(弾き歌い)を 2 曲 教科書「こどものうた 100」または「小学校教諭のための歌唱共通教材ピアノ伴奏集」の中から、各自で楽曲を選択する(二冊とも購入する必要はない)。 なお、楽譜の難易度については、各自で自分に見合ったものを選ぶこと。 ※ピアノ未経験者は、添付ファイル「チューリップ」「きらきら星」「かえるの合唱」の中から 2 曲選択し、音名(ドレミ)を読み、歌えるようにしておくこと。ピアノ 1-1 では右手と歌のみの弾き歌いでも可とする。 (B)各自が選択したピアノ曲を 1 曲(バイエル 59 番までの場合は 2 曲) ただし、クラシックジャンルのピアノ曲とし、全演奏時間は5分以内で完結する曲とする。 また次の楽曲を除く。 ・バイエル No.41,42,43,44,63,68,69,70,71,86,87,各調の音階 ・簡易楽譜によるもの ・ツェルニー練習曲 ※ピアノ未経験者はバイエル No.3～6、8の音名(ドレミ)をあらかじめ読んでおくこと。 授業内で順に進めていき、その進度によって試験曲を決定する。 【試験曲：子どもの歌(弾き歌い)1曲・ピアノ曲 1 曲】 ※試験曲は暗譜を必要としない。 ☆成績については、受講時の取り組む姿勢、上達度、授業内実技試験の結果などによって総合的に評価する。						

科目名	ピアノＩ－２	単位	面接１単位	配当年次	２年次	授業形態	演習
教科書	バイエル教則本/ブルクミュラー25の練習曲/ソナチネアルバム１・２等（各自のレベルにあった物） こどものうた100 著）小林美実　出）チャイルド本社　編／ 小学校教諭のための歌唱共通教材ピアノ伴奏集　出）学研　編曲）大海由佳／古谷和子／長谷川恭子（各自書店にて購入）						
持参物	教科書、筆記用具						
備　考	受講についてはピアノ１－１　→　ピアノ１－２の順番で受講するのが望ましい。						
授業内容	次の（A)、(B）の楽曲について、個人レッスンを行い、最終試験ではその成果を発表する（受講までにしっかり練習して準備しておくように)。 ※ピアノ 1−1 とは異なる曲を選ぶこと。 （A）子どもの歌（弾き歌い）を 2 曲 教科書「こどものうた 100」または「小学校教諭のための歌唱共通教材ピアノ伴奏集」の中から選択する（二冊とも購入する必要はない)。 なお、楽譜の難易度については、各自で自分に見合ったものを選ぶこと。 （B）各自が選択したピアノ曲を 1 曲（バイエル 59 番までの場合は 2 曲） ただし、クラシックジャンルのピアノ曲とし、全演奏時間は５分以内で完結する曲とする。 また次の楽曲を除く。 ・バイエル No. 41, 42, 43, 44, 63, 68, 69, 70, 71, 86, 87, 各調の音階 ・簡易楽譜によるもの ・ツェルニー練習曲 【試験曲：子どもの歌(弾き歌い) 1 曲・ピアノ曲 1 曲】 ※試験曲は暗譜を必要としない。 ※弾き歌いに関してはピアノ 1−2 では両手伴奏が望ましいが、未経験者の場合にはその限りではない。 ☆成績については、受講時の取り組む姿勢、上達度、授業内実技試験の結果などによって総合的に評価する。						

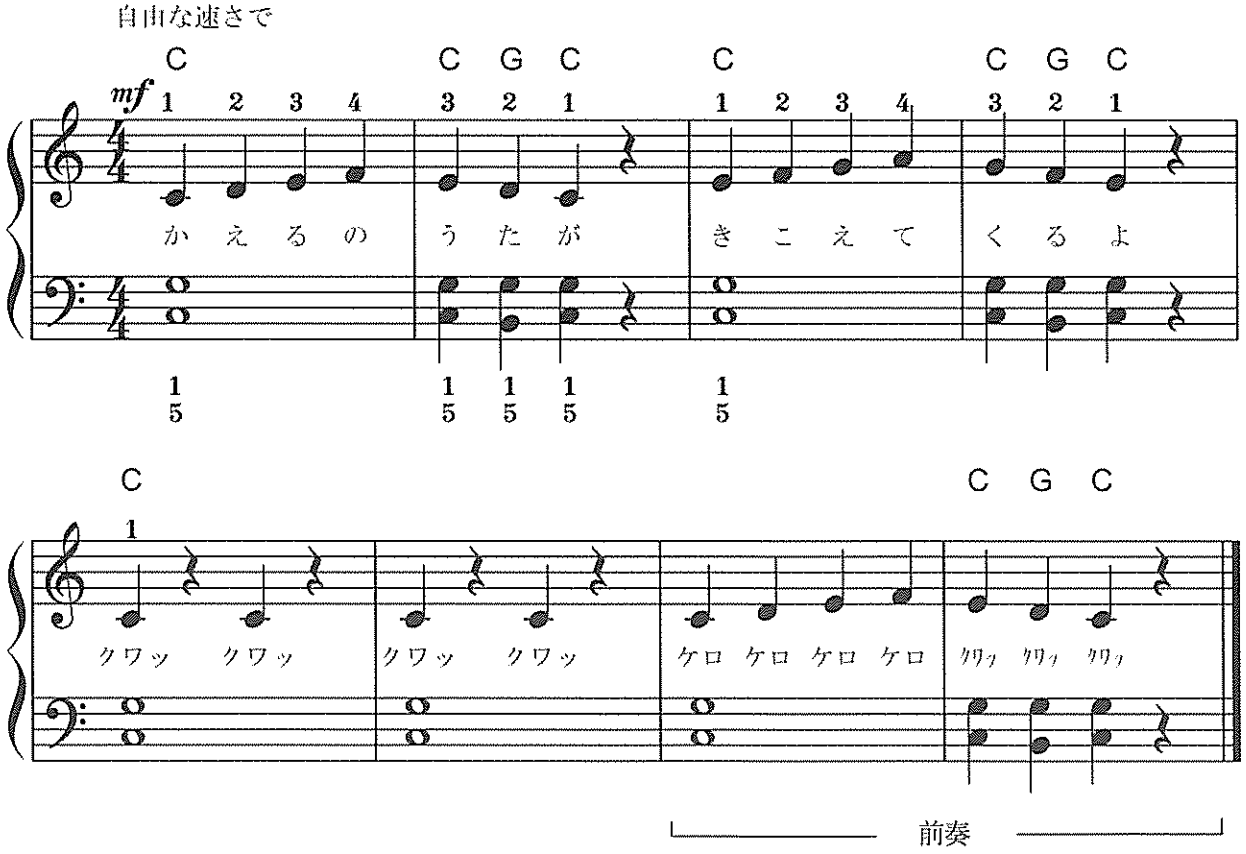
（ピアノ１で使用楽譜）

重音（C:ドソ、G：シソ）



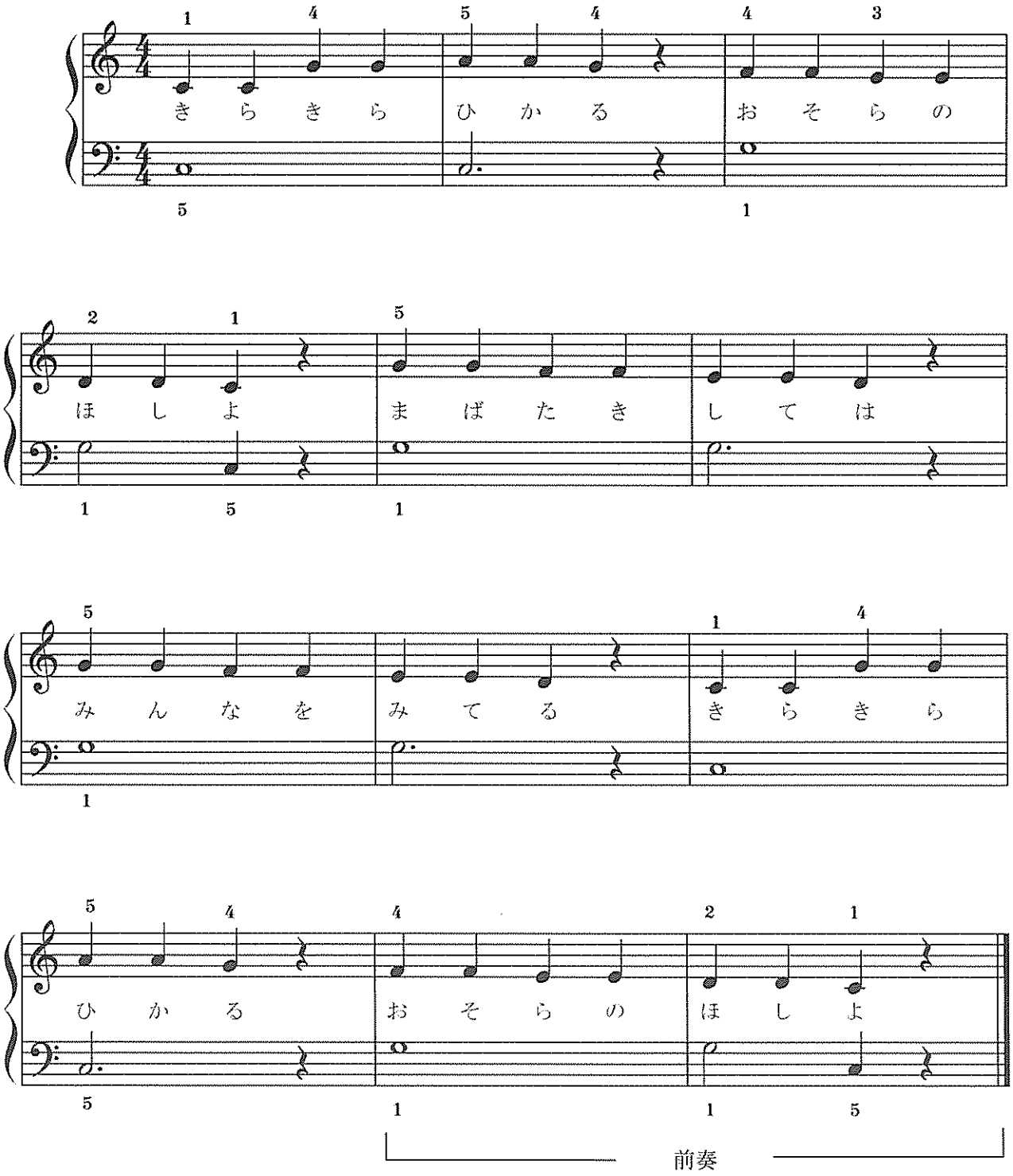
かえるの合唱

岡本 敏明 作詞 ／ 外国曲



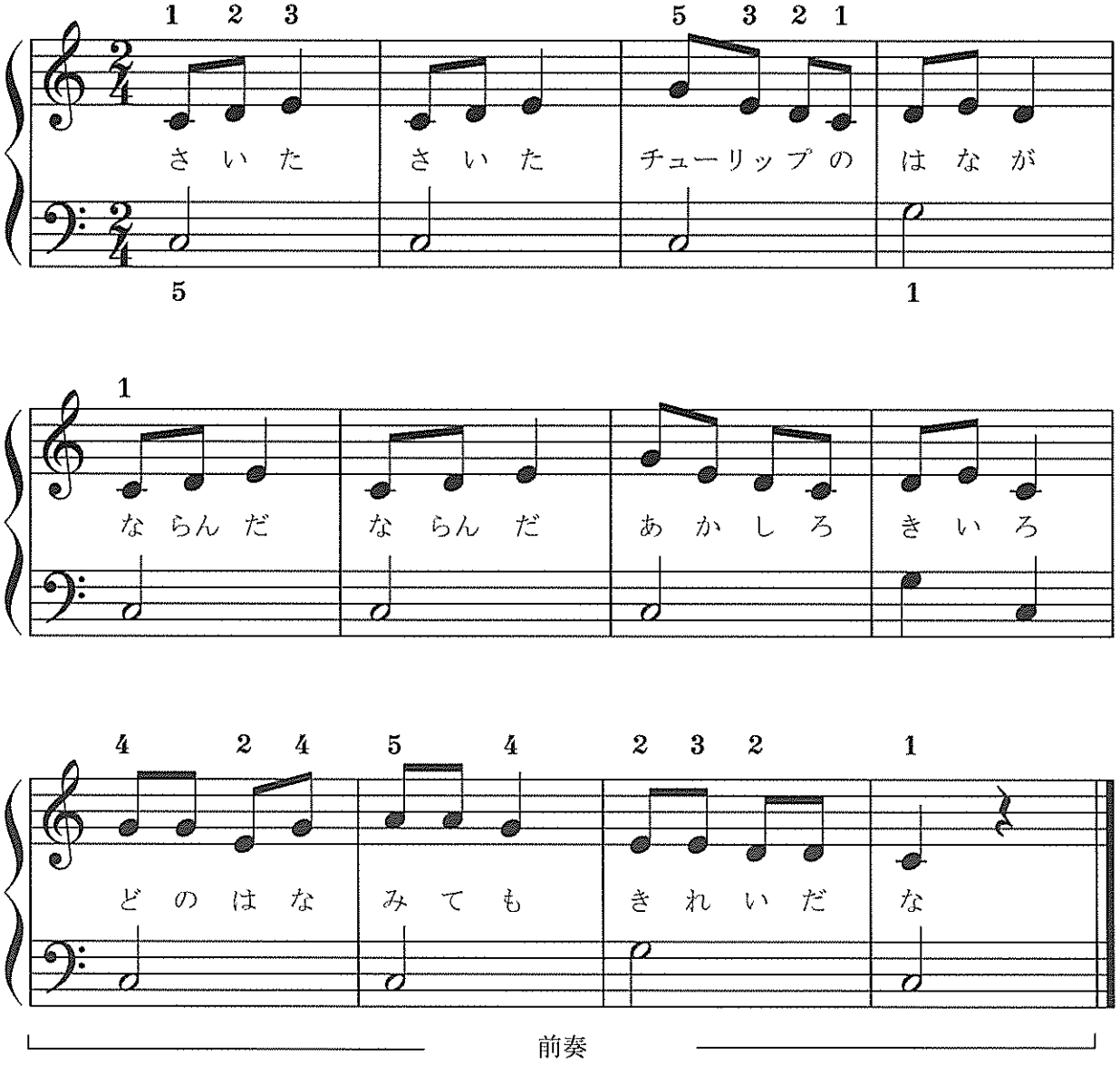
きらきら星

武鹿 悦子 訳詞 ／ フランス民謡



チューリップ

近藤宮子 作詞／井上武士 作曲



科目名	絵本の表現	単位	通信２単位 面接２単位	配当年次	２年次	授業形態	演習
教科書	「楽しくはじめる絵本づくり 絵本をつくりたい！」成美堂出版編集部編（成美堂出版）						
持参物	・ 提出課題（第 1 課題・第 2 課題） ・ B5 サイズコピー用紙　最低 8 枚（ラフ用ですので多めにご用意ください。） ・ 筆記用具（鉛筆 2H/HB/B・消しゴム） ・ カッターナイフ ・ 色鉛筆（最低　黄・赤・青・黒の 4 色があること） ・ スティック糊 ・ 文章を保存するための USB						
授業内容	○1 日目 ・第 1 課題・第 2 課題のチェック　見直し　ブラッシュアップ ・参考絵本で、絵本の各部名称・テーマの確認します。 主人公のキャラクターの観察と画材研究 ※多くの絵本を見ていただきます。 ○2 日目 ・1 日目にブラッシュアップした絵コンテ（サムネール）をもとに B6 サイズ保存のラフを作成 ・文章の活字化（教室にあるコンピュータを使用）USB に保存そして出力 ・出力した文字をラフに貼りつけます。 ・朗読して絵と文字のバランスを確認（必要であれば手直し） ・2 枚ずつコピーを取る。 ○3 日目 ・コピーに取ったラフの一組を糊付けして製本します。 ・もう一組のラフは、色鉛筆で着色して、全体の色を把握する。 ・最後は糊付けして冊子になったものをプレゼンテーションします。 ※人によってスピードはまちまちです。 個人個人に合わせたスケジュールで進めていきます。						

科目名	絵本の読み聞かせ	単位	面接１単位	配当年次	２年次	授業形態	演習
教科書	なし						
持参物	好きな絵本を１冊持参してきてください。						
備　考	動きやすい服装で来てください。						
授業内容	第一回　絵本とは 持参した絵本についての紹介をし合い、絵本の定義、絵本というメディアの特徴について講義します。 第二回　絵本を選ぶ 絵本の選び方の観点について具体的な絵本を示しながら講義し、実際の絵本を例に選び方についての実践を行います。 第三回　絵本を選ぶ 図書館で２日目に発表する絵本を選び、ワークシートに記入します。 第四回　絵本をよむ 絵本の読み方を学び、練習します。 第五回　物語体験ワークショップ 絵本を使った遊びを体験します。 第六回　絵本の歴史を知る 日本および世界の絵本の歴史を学びます。 第七回　さまざまなジャンルの絵本を楽しむ さまざまなジャンルの絵本について学びます。 第八回　発表 練習した絵本の発表を行います。						

科目名	演習Ⅱ-1（大土先生）	単位	面接１単位	配当年次	３年次	授業形態	演習
教科書	特にありません。						
持参物	授業内容に関する文献や書籍などの資料と USB がありましたら持参してください.						
備　考							
授業内容	授業計画 1. 演習 II の進め方：卒業研究に向けて 2. テーマの選択・決定について１ 3. テーマの選択・決定について２ 4. 先行研究の調査１：検索技術の向上 5. 先行研究の調査２：検索の実際 6. 先行研究の調査３：検索技術の向上 7. 文献の読解１：文章の構造 8. 文献の読解２：主張・結論の抽出 9. 文献の読解３：読解結果の発表、文献の記載方法 10. 資料の整理１：統計処理の基礎 11. 資料の整理２：変量の統計 12. 資料の整理３：検定 13. 文章作成１：論文の構成 14. 文章作成２：論理的な文章 15. 文章作成３：論述の練習						

科目名	演習Ⅱ－２（大土先生）	単位	面接１単位	配当年次	３年次	授業形態	演習
教科書	特にありません。						
持参物	授業内容に関する文献や書籍などの資料と USB がありましたら持参してください.						
備　考							
授業内容	授業計画 1. テーマの設定 2. 調査・資料収集の基本 3. 調査の準備１：調査の方法について学ぶ 4. 調査の準備２：質問項目・選択肢等の作成 5. 調査の準備３：質問項目・選択肢等の作成 6. 調査の準備４：質問項目・選択肢等の作成 7. 調査の実施１：質問用紙の作成（Google forms） 8. 調査の実施２：質問用紙の編集 9. 結果の分析１：データ分析の実際 10. 結果の分析２：データ分析の実際 11. 結果の分析３：分析結果の表現 12. 結果の分析４：分析結果の発表と議論 13. 卒業論文概要の作成１ 14. 卒業論文概要の作成２ 15. 卒業論文概要の発表と提出						

科目名	社会科指導法	単位	通信１単位 面接１単位	配当年次	３年次	授業形態	講義
教科書	小学校学習指導要領解説 社会編 初等社会科教育研究　山口幸男・山本友和 編著　（学芸図書）※ ※1年次配当「社会」履修時に事務室から配布						
持参物	ノート、筆記用具、「小学校学習指導要領解説 社会編」「初等社会科教育研究」						
備考	小学校社会科が担っている教育目標についての理解を深めること。また、社会科の授業づくりにとって、教員自身が「社会」に、また「社会科の授業づくり」に興味関心を深めること、そして、文化も含めた「様々な社会事象」に対して自らの認識を深めていくことが大切である。授業者としては、学生が「社会科」が好きになるような講義内容を目指したい。						
授業内容	１．　１年次に使用した教科書「初等社会科教育研究」を使って、社会科の歴史、社会科の目標、社会科の内容について復習する。特に、社会科の存立基盤と目標について学ぶ。 ２．　「日本の国のかたち」について考える。教育基本法の前文の中に「民主的で文化的な国家をさらに発展させる」の文言がある。歴史は、先人からの文化の受け取りと、次への伝播に他ならないと言える。私たちの国がどんな文化を積み上げてきたのかを考える。 ３．　授業づくりについて考える（１） 社会科とつながりが深い１，２年生の生活科、3～6年生の「総合的な学習の時間」について、授業記録をもとにして、「授業のねらい」について学ぶ。 ４．　授業分析を行う。 中学年の授業記録を見て、授業づくりにおいて大切にされなければならないことは何かについて協議し、学び合う。 ５．　授業づくりについて考える（２） 3，4年生の社会科の授業づくりについて学ぶ。小学3，4年生の社会科の教科書を参考にし、単元のねらい、教材の工夫の仕方、発問について考察する。 ６．　授業づくりについて考える（３） 小学校5，6年生の社会科教科書を参考に、指導案の作成（目標・教材観・本時の目標・授業展開）について学ぶ。 ７．　レポート課題について、解説・説明を行う。 テーマ１からテーマ６までを説明する中で、質疑・応答を行う。その過程で、現行の教科書を参照しながら、自らのレポート課題の作成に向けて、準備を行う。 ８．　まとめとテスト 二日間の講義の中から、関連する問題3問を出す。自らの考えをまとめる形で答案を作成する						

科目名	算数科指導法	単位	１単位	配当年次	３年次	授業形態	講義
教科書	「図解見るだけでポイント早わかり算数授業研究」高橋朋彦 著（明治図書）						
持参物	・上記の教科書　・筆記用具						
備考	小学校の教育現場を想定した算数の授業が行えるよう、実践的な授業力を養う。 到達目標：算数科の目標や系統性等を踏まえて授業を構想し、学習展開を具体化できる。						
授業内容	1.「どのようなねらいで、何を学ぶのか」 ・算数科の目標、及び各領域における学年別学習内容の系統性を捉える。 2.「どのように授業を組み立てて、どの形態で学ぶのか」 ・授業の基本的な流れを明確にし、各々のポイントを押さえる ・一斉、個別、ペア、グループの活動を組み合わせる 3.「黒板やノート類をどう位置づけて活用するか」 ・効果的な板書構成とノート指導のあり方 ・学習の定着のステップ、家庭学習との関連づけ 4.「教科書を主たる教材として、どのように活用するのか」 ・教科書を用いた基本的な指導法を実演しながら身につける 5.「ICT の活用方法を探る」 ・視覚的な表出、操作的活動、個別最適と協働的な学び、双方向機能 ・教材アプリの活用、様々な事例をもとに指導法をアレンジ 6.「デジタル教科書やプログラミング学習を演習する」 ・パソコンや端末機器の操作演習 7.「単元の指導計画と学習指導案を作成する」 ・主体的、対話的で深い学びを促す授業の設計 8. まとめ ・振り返りと成果報告						

科目名	理科指導法	単位	通信１単位 面接１単位	配当年次	３年次	授業形態	講義
教科書	「小学校学習指導要領解説 理科編」（文部科学省）						
持参物	・筆記用具　・教科書						
備考							
授業内容	１～７：通信　８～15：面接 １.生活科との関連を考えながら、学習指導要領をもとに小学校理科の目標を理解する ２.第３学年の目標及び内容について ３.第４学年の目標及び内容について ４.第５学年の目標及び内容について ５.第６学年の目標及び内容について ６.指導内容の取扱いについての配慮事項について ７.事故防止，薬品などの管理について ８.指導計画の作成上の配慮事項及び理科学習指導案について ９.観察・実験等における指導上の留意点について（実験器具の管理・取り扱い） 10.観察・実験等における指導上の留意点について（理科授業中の事故について、安全管理） 11.観察・実験等における指導上の留意点について（実験用薬品の管理・取り扱い） 12.観察・実験等における指導上の留意点について（電気実験の留意点と電流計等測定器具の取り扱い） 13.観察・実験等における指導上の留意点について（顕微鏡、ルーペなどの取り扱い） 14.観察・実験等における指導上の留意点について（校庭の利用と自然観察の指導上の留意点） 15.模擬授業及び理科授業の改善、教材研究について						

科目名	生活科指導法	単位	通信１単位 面接１単位	配当年次	３年次	授業形態	講義
教科書	「小学校学習指導要領解説 生活編」（文部科学省） 「わくわくせいかつ上」（啓林館）　「いきいきせいかつ下」（啓林館）						
持参物	・筆記用具　・「小学校学習指導要領解説 生活編」 「わくわくせいかつ上」「いきいきせいかつ下」						
備考	小学校生活科は、その創設以来、子どもたちが楽しいと思って活動することが大切で、その楽しさを共有し合うことで感性も豊かになる。講義内容は、その生活科の創造性豊かな授業づくりである。生活科の指導案の作成や模擬授業を行い、指導力を身に付けることを目指したい。						
授業内容	（１）生活科の授業実践を視聴します。 学生と共に授業分析を行い生活科のねらいは何か、何を目標とするべきかを論議します。 （２）植物・動物を育て、その成長を観察することの意義を考えます。 自然や命を見つめることと生活科の意義について考えます。 （３）ネイチャークラフトを通して、子どもたちに自然に親しむことのすばらしさを感じてもらう方法について、思案を巡らせます。 （４）生活科と３年生からの理科との関係について考察します。 （５）生活科と３年生からの社会科との関係について考察します。 （６）１、２年生を通じての生活科の目標とカリキュラムについてグループ協議を行います。 （７）教科書、学習指導要領を検討し指導案を作成します。 （８）学生による模擬授業を行います。						

科目名	保育内容（言葉）	単位	面接１単位	配当年次	３年次	授業形態	講義
教科書	「新時代の保育双書　保育内容ことば　第３版」成田　敏男編（株）みらい						
持参物	・筆記用具　・好きな絵本（１～２冊）　・色鉛筆もしくはクレパス　・教科書						
備考							
授業内容	本授業は、子どもがどのようにことばを発達させるのか、それを支えるものはなにかなど、乳幼児 期における言語発達について学ぶことから始まる。 特に、ことばを話す前の前言語期から子どもがどのような能力を発達させるかを理解し、早期からの保育者の対応の大切さを考える。 そして、その基本的な知識を実際の子どもの言動の解釈に用いながら、その場でどのような応答的かかわりやことばかけがことばを育てることにつながるかついて、子どもの年齢や状況に合わせて考える機会を提供する。また、絵本を中心としたことばを育てる文化財や、発達年齢に沿った絵本の選択、読み聞かせの方法についても学ぶ。 さらに、ことばの遅れや言語発達障害の事例から子どもの特性を理解し、保育現場で保育者が支援として何ができるかについても学ぶ。 受講者が持参した絵本もしくは本学科にある絵本を使って簡単な描画や発表を行う実践も含まれている。						

科目名	保育内容（表現）	単位	面接１単位	配当年次	３年次	授業形態	講義
教科書	事例で学ぶ保育内容（領域）表現						
持参物	教科書						
備　考	あらかじめテキストは目を通しておいてください						
授業内容	子どもは生まれてすぐから泣くという形で感情を表出する。しかし幼児になり、周りの人や友達との関係を築きながら、自己主張し感情を表出することから、周りと協調性を持ちつつ、言葉や音、身体運動や絵画などを媒介として「表現」として表すようになる。そのため保育者は子どもの身体的・精神的及び人間関係の築き方などの特徴を知りつつ、感性を高めなくてはならない。幼稚園教育要領に即して「表現」領域を考察しつつ、幼児の表現について学び、幼児が表現するよう導くべき保育力を身に付けるよう演習を持つことが大切である。 １　領域「表現」の目標、内容について理解する ２　音楽表現の方法について、また素材である音について学ぶ ３　音聴取、音感受について学ぶ ４　身体表現による表現活動について学ぶ ５　言葉による表現活動における教授法を学ぶ ６　身近な音による表現活動、器楽について学ぶ ７　指導案の仕組みと理解と作成 ８　模擬保育の実施と考察						

科目名	こどもふれあい体験実習	単位	面接１単位 通信１単位	配当年次	３年次	授業形態	実習
教科書	無し						
持参物	筆記用具						
備　考							
授業内容	幼児との関わりを通して幼児理解を行い、担任の指導を観察することから保育者の援助、保育準備などがどのように行われているかなどを具体的・実践的に学ぶ。 実習内容や状況などを報告し合い、幼児理解や保育者の援助などについて理解を深め、担当教員から事後指導を受ける。　自身の今後の取り組みや目指すものを具体化していけるようにする。						

科目名	幼児理解の理論と方法（幼児）	単位	通信１単位 面接１単位	配当年次	３年次	授業形態	講義
教科書	「子どもの理解と援助　新しい保育講座３」（ミネルヴァ書房）※スクーリング時は持参不要						
持参物	・筆記用具　・ノート						
備考							
授業内容	１．子どもの視座にたつ 幼児理解とはどういうことか、どのような視点で理解するのか さまざまなエピソードから読み解く。 ２．発達的視点で子どもを理解する 幼児理解のために不可欠な発達的視点について理解を深める。 ３．発達のつまづきや偏り 平均と個人差の理解、可能な支援について考える。 ４．子どもと遊び 遊びを通した支援と援助の方法について学ぶ。 ５．環境としての保育者 子どもの心の育ちの援助と保育のための自己理解。 ６．理解者としての保育者 子どもと保育者の相互作用と援助。 ７．支援の実際 具体的なエピソードをもとに支援についての考察を深める。 ８．まとめの課題 まとめと単位認定課題。						

科目名	家庭科指導法	単位	通信１単位 面接１単位	配当年次	３年次	授業形態	講義
教科書	テキスト「改訂　小学校の教師をめざす人のための「小学校家庭科」指導テキスト」（開隆堂）						
持参物	テキスト、上履き（調理室使用時は土足厳禁のため必ず用意すること できるだけ上履き（体育館シューズ等）が望ましいが用意できない場合はスリッパでも可）、エプロン、三角巾（バンダナ） ※頭部を覆うために使用、手拭用タオル						
備考	調理実習をするので、爪を切りネイルもとってきてください。 食物アレルギーがある場合は事前に申し出ること。						
授業内容	○小学校指導要領に示された家庭科の目標及び内容構成 ○学習内容の指導上の留意点 ○学習指導案の書き方 ○思考ツールを活用した模擬授業の立案、実施。 「身近な物の遊び方・買い方」 ○情報機器及び教材の活用を図る授業の立案 「手縫いの指導」 ○アクティブラーニングによる調理の指導計画立案 「米飯とみそ汁」 ○米飯とみそ汁及びそれに合うおかずの調理方法 ○手縫いの学習指導教材の作成とその活用の仕方についての交流。						

科目名	英語科指導法 外国語活動に関する指導法	単位	通信１単位 面接１単位	配当年次	３年次	授業形態	講義
教科書	「Let’ s Try（１）と（２）」（文部科学省） 小学校学習指導要領（英語）						
持参物	・筆記用具　（色鉛筆・のり・はさみ等が必要な時間があります） ・教科書 ・配布プリントをファイリングできるもの						
備考	前半は講義形式です。後半はできる範囲でレポート作成や実際についての取り組みを行います。 積極的に授業に参加してください。						
授業内容	○ガイダンス：授業の進め方の説明 小学校英語教育導入の経緯と現状の把握をする ○小学校外国語活動「実際に行われている授業」 小学校外国語活動「実態と問題点」 ○クラスルーム・イングリッシュについて ○授業ビデオを視聴しながら、授業の流れを記録し、討議を深める方法を学ぶ。 小学校外国語活動まとめのレポート作成　【評価】授業内レポート ○自己紹介スピーチ準備と発表（カード、ICT を使って）【評価】スピーチ・制作物 ○アクティビティの実践： さまざまなアクティビティの実技演習を通して、授業への生かし方を考える ○フォニックスについて： フォニックスとは、実際どのようなものかを体験し、授業への生かし方を考える 文字の導入と読み書きの指導の実際 ○コミュニケーション育成のための工夫： ペアーワークやグループワークを生かすコミュニケーション活動・言語活動の方法を学ぶ ○ティームティーチングについて学ぶ： 授業ビデオなどを視聴し、実際のティームティーチングの様子を知り、ティームティーチングの効果的な教材について研究する ○年間計画について 「Let's Try! 1,2」の内容紹介と教材を使っての授業研究・年間計画など作成 ○授業の指導案作成のための準備・計画→作成 模擬授業の実習（時間があれば）　【評価】指導案・レポート ○まとめ　課題提出につて						

科目名	教育とＩＣＴ活用の理解と方法	単位	2単位	配当年次	3年次	授業形態	演習
教科書	無し						
持参物	筆記用具						
備　考	※授業中プリント配布						
授業内容	これからの学校教育では、個別最適で協働的な学びの実現とともに情報活用能力の育成や校務の情報化に向けて、教員はICTを活用し指導する能力が求められている。そこで本授業では、GIGAスクール構想の理念に基づき、1人1台端末の環境で、双方向の通信機能を活用して授業を進める。 主な授業の流れは、ICT の意義や教科等の具体的な活用事例をもとに、演習を通しての操作スキルを身につける。そして、それらが他の授業でも応用できるよう、ICT活用の授業場面を設定したり、デジタル教材を利活用したりして学びを深める。 1.オリエンテーション、通信端末機器の基本操作 2.GIGAスクール構想とICT活用の意義、双方向機能及びシンキングツールの活用 3.国語科におけるICT活用の実際 4.算数科におけるICT活用の実際 5.社会科、体育科におけるICT活用の実際 6.理科、家庭科におけるICT活用の実際 7.音楽科におけるICT活用の実際 8.音楽科アプリによる創作活動の演習 9.図工科にける活用法とコマ撮り作品制作の演習 10.描画アプリの機能を生かした創作活動の演習 11.プログラミング学習の演習（Viscuit：低～中学年対象） 12.プログラミング学習の演習（Scratch：高学年対象） 13.初等中等教育段階における生成 AI の利活用に関するガイドラインの実際 14.電子教科書の活用、情報モラルとセキュリティの心構えと指導法 15.Web利用による教育資料の活用と校務の情報化、まとめ						

科目名	心理療法演習-1 心理療法演習-2	単位	面接２単位	配当年次	３年次	授業形態	演習
教科書	なし						
持参物	・筆記用具						
授業内容	① 全ての心理療法の基盤、カウンセリングの原点であるカール・ロジャーズの来談者中心療法について、講義と実習（カウンセラー役や相談者役をそれぞれ演じるロールプレイ等）で理解を深め、日常の実践に少しでも活かせるように、いわゆる傾聴技法を身につける練習を行いたい。 ② 加えて、心理療法実践の前提ともなる、心理アセスメントについても学習（できれば実際に体験）したい。具体的には、描画法によるパーソナリティテストや認知特性を把握する検査、職業適性検査など、受講生の希望も考慮しながら、体験的に知ってもらう機会も設けたい。 ③ それぞれの参加者の持っている問題意識についても議論する機会も作りたい。 ④ 直接心理療法場面を見学等することはできないが、現場での実際の話や、相談支援現場の見学（心理療法を行っているところではないが、若者サポートステーションなど）も、可能な限り取り入れることも検討したい。						

科目名	絵画・造形療法演習-1 絵画・造形療法演習-2	単位	面接２単位	配当年次	３年次	授業形態	演習
教科書	なし						
持参物	筆記用具、スケッチブック（マルマンスケッチブック A4 24 枚 S131）						
備考	個人と集団の絵画療法演習を行います。						
授業内容	○絵画療法とは何か ○絵画・造形がなぜ必要なのか ○絵画療法のシステム、プロセス ○絵画療法と美術教育 ○絵画療法とレクレーション ○素材研究 ※授業はあくまでも予定であり変更する場合もありますのでご了承ください。						

科目名	音楽療法演習-1 音楽療法演習-2	単位	面接２単位	配当年次	３年次	授業形態	演習
教科書	なし						
持参物	・筆記用具　・動きやすい服装、靴						
備考							
授業内容	○音楽療法の実践を学ぶ ・音楽療法の実践に必要な音楽技術やプログラムの組み方を学ぶ （学内授業） ・様々な障がい児・者のケースについて、実践現場に赴き、療法の進め方や展開の仕方を学ぶ。 （学外授業） ※実践現場への見学は通信教育ならではの授業となっている。 テキストや画像、映像では学べない実践力が身に付くと考える。						

科目名	教育実習Ⅰ（事前・事後指導）	単位	1単位	配当年次	4年次	授業形態	講義
教科書	学習指導要領（小学校）						
持参物	・筆記用具　・タブレット、ノートパソコン等（検索、スライド作成などができるもの） ・配布プリントをプリントファイリングできるもの						
備　考	前半は講義形式です。後半はできる範囲でレポート作成や実際についての取り組みを行います。 積極的に授業に参加してください。						
授業内容	【授業の目的及びテーマ】 小学校における教育実習の意義や目的を理解し、必要な知識、技能、態度を学ぶ。教職キャリア形成を通じて、個々の課題や目標を明確にする。 （到達目標） （１）教育実習の意義・目的を理解し、教育実習生としてふさわしい態度を身につける。 （２）教職に対する理解を深め、今後の自己課題を設定する。 【授業計画】 ○オリエンテーション ○教育実習に臨む準備と心構え めざす教師像、求められる教師像 ○基本的留意事項 ○指導における留意事項 ○具体的な実習内容について ・参観（観察）実習、参加（活動）実習、授業実習 児童理解、人権教育、保護者・地域との連携等 ○授業研究について 指導案づくりと模擬授業 ○実習記録について ○実習後の振り返り 成果と課題の整理と今後の自己の課題設定						